

人が動く、国土が躍動する。

国土交通省

みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾事務所
清水港事務所
御前崎港事務所
下田港事務所

平成16年度 港湾整備事業内容・予算

平成16年度に、清水港湾事務所が実施する直轄港湾整備事業費は、下表のとおり3港で約39億円となっています。

今年度、**清水港**では平成15年6月に供用された新興津国際海上コンテナターミナル(-15m)のある新興津地区において、岸壁の静穏度を確保するため防波堤整備と泊地を確保するための浚渫を推進します。

また外港地区において、検疫錨地等への反射波対策として防波堤前面の改良を推進します。



御前崎港では

平成16年1月に供用開始された御前崎多目的国際コンテナターミナル(-14m)のある女岩地区において、港内静穏度を確保するための防波堤(東・西)整備と航路泊地を確保するための浚渫を推進します。

また防波堤(西)については、建設コストを低減できるスリット式ケーソンを採用し、ケーソンの湧水部にカジメの藻体(種苗)

を移植して母藻を育成する実験(環境協調型防波堤)を行っています。

下田港は避難港に指定されており、避難船舶を守るため防波堤整備を推進します。また、近い将来予想される大規模地震に対する津波防波堤として背後の住民、財産を津波から守る機能も兼ね備えています。



◎ 平成16年度港湾整備費

(単位：百万円)

港名	地区	整備目的	事業費	整備内容
清水港	新興津地区	国際海上コンテナターミナル関連施設整備	1,721	浚渫工, 築造(基礎・本体・据付・消波工), 消波工
御前崎港	女岩地区	多目的国際ターミナル関連施設整備	1,278	浚渫工, 築造(基礎・本体・据付・上部工), 消波工
下田港	下田地区	船舶の避難と津波対策	912	築造(基礎・本体・据付・上部工), 消波工
合計			3,911	

第65回 黒船祭

～今年はお下田開港150周年です～

南伊豆の中心地である下田市で、5月14日～16日にかけて“第65回黒船祭”が開催されました。

幕末の黒船来航に始まる日米の友好の歴史を記念して、日本最初の開港場である下田市において、毎年5月の中旬に行われているお祭ですが、今年はお日米和親条約締結による下田開港から150年目にあたる節目の年であり、例年にも増して盛大にとり行われました。

初日には市内のホテルで日米歓迎交流会が行われました。米国からは大使館や米軍の高官らが、日本からは国会議員、静岡県知事、また中部地方整備局副局長らが来賓として招かれ、主催者の下田市長をはじめとする地元のあたたかい歓迎を受けました。

夜には黒船祭花火大会が行われ、今年の新作花火が惜しみなく披露され、祭りに華を添えました。

2日目には市内で記念式典が行われた後、日米陸海軍の楽隊による公式パレードが行われ、市内の各所で露店やイベントなどが催され、たくさんの人で賑わいました。

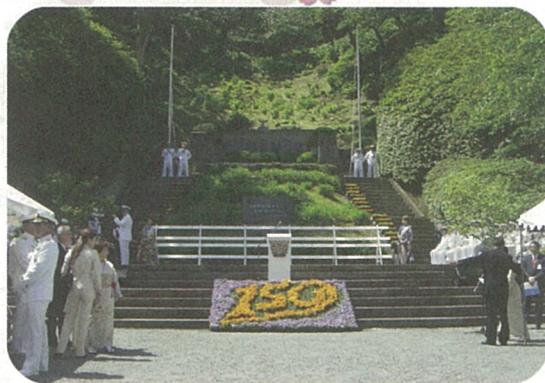
特に今年は、下田開港150周年ということで、実際に市内の商店や交通機関などで使用できる記念コインが発行されたり、下田港

には初となる、帆船「日本丸」の寄港などもありました。

最終日には各種イベントが開催される中、「第23回日米いかだ乗り競漕」が行われ、当事務所からも9名(3艇)の選手がエントリーして、精一杯いかだを漕いできました。

順位はあまり芳しくありませんでしたが、強風と満ち潮の中、最後まで漕ぎ続けることができ、思い出に残るレースとなりました。

最終日は多少ぐずついた天気になりましたが、お祭りの期間中、大きなトラブルもなく、“第65回黒船祭”は無事閉幕しました。



〈記念式典の会場〉



〈下田港に初入港した日本丸〉



〈公式パレードの様子〉



〈いかだ乗り競漕〉



〈いかだ乗りの選手と応援団!〉

第5回清水港フラワーショー

5月8、9日に清水マリンターミナルで行われた“第5回清水港フラワーショー”は、静岡県、静岡市、清水商工会議所などで構成される清水港フラワーショー実行委員会主催で開催され、「花と緑と水」に溢れた豊かで潤いに満ちたガーデンポートづくりの一環として毎年開催されており、今年で5回目となります。

会場には、花の展示コーナーをはじめ、フラワーアレンジメントのコンテ

スト作品の展示、輸入ガーデニング用品の展示・販売、また各種の園芸講座なども開催され、2日間で約2万9千人の来場者で賑わいました。

当事務所も清水港管理局と共同ブースを出展し、小学生向けのビデオ『来て 見て 知って 清水港』の放映や動く模型、パネルを展示し、平成15年6月に供用された新興津コンテナターミナルや国土交通省が特別協力となっている浜名湖花博のPRなどを行いました。



〈約60品種のバラが展示〉



〈ビデオを見る来場者の方〉



〈動く模型は子供に大人気〉

“クリスタルハーモニー” 寄港

5月14日に外国クルーズ客船“クリスタルハーモニー”が寄港しました。全長241m、49,400トン、乗客定員940人の日本生まれの豪華客船で、清水港には2回目の寄港になります。

当日は日の出埠頭で歓迎式典が催され、船長らに花束や静岡市の伝統工芸品などが贈呈され、市内の小学生が歌とソーラン踊りで寄港を歓迎しました。

また当日は和太鼓の演奏やお茶会、富士山写真展、その他、子供との交流会など国際交流を楽しむ催し物が終日開催され、17時過ぎに多くの市民の方に見送られながら、次の寄港地・東京港に向けて出港しました。



〈寄港したクリスタルハーモニー〉



〈歓迎式典での小学生の踊り〉

みなとづくり見学会

みなとづくり見学会とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、国民の皆さんに広く、“みなと”の果たす役割を理解してもらうために行っています。

見学会の様子



↑
吉田町ピーマンクラブの皆さん(御前崎港)



↑
静岡市議会経済消防委員会の皆さん(清水港)

実施日	団体名
5. 14	館山市
5. 17	吉田町ピーマンクラブ
5. 27	静岡市議会経済消防委員会
6. 4	静岡県行政センター
(黒字：清水港 青字：御前崎港 緑字：下田港 実施)	

清水港・新興津国際海上コンテナターミナル整備が “日本港湾協会 技術賞”を受賞しました!

“日本港湾協会技術賞”とは、港湾の発展振興に貢献した団体に送られる賞で、清水港管理局と当事務所が合同で受賞することになりました。

5月26日に日本港湾協会通常総会が横浜港・大さん橋国際旅客ターミナルで開催され、総会のなかで授賞式が行われました。

平成15年6月に供用開始された清水港新興津地区・国際海上コンテナターミナルは、日本で最大級のハイブリッドケーソン構造を採用した岸壁(-15m)で、大規模地震



発生時においても国際物流機能を確保できる海上コンテナターミナルとして、我が国港湾の国際競争力向上に多大な貢献をするとともに、平成11年に工事を開始して4年間という短期間で完成させたことから今回、技術賞を受賞することとなりました。

当事務所では、平成8年に下田港の消波ブロック内蔵双胴型ケーソン防波堤の施工で日本港湾協会技術賞を受賞して以来の表彰となりました。



管内の主な動き

3.31	下田開港オープニングセレモニー	5.19	清水港客船誘致委員会 総会
4.13	御前崎港建設工事安全協議会	5.20	清水港利用促進協会 総会
4.14	第4回新色彩計画策定委員会	5.26	日本港湾協会 通常総会
4.20	清水港港湾建設工事安全協議会	5.27	静岡県海事広報協会 総会
4.23	清水港整備構想調査委員会		下田港安全協議会
5.8~9	第5回清水港フラワーショー	5.28	清水漁港振興会 通常総会
5.10~12	会計検査	5.31	日本港湾空港建設協会 静岡県支部総会
5.14	クリスタルハーモニー寄港	6.3	港湾利用者懇談会
5.14~16	下田港開港150周年 第65回黒船祭	6.9	第5回新色彩計画策定委員会

海とみなとの相談窓口



☎ 全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと

0120-497-370

★受付時間: 9時 ~ 12時、13時 ~ 17時 (土・日・祝日は除く)

- 海やみなとの利用に関すること
- 総合的な学習時間に関すること
- みなとの構想や計画に関すること
- みなとの防災に関すること
- 海洋土木技術に関すること
- その他、みなとに関すること
- …など、みなとに関することは何でもお問合せください。

